

国崎クリーンセンター第3期焼却施設等管理運営業務

審 査 講 評

令和3年11月12日

国崎クリーンセンター第3期焼却施設等管理運営業務

事業者選定委員会

国崎クリーンセンター第3期焼却施設等管理運営業務事業者選定委員会（以下「選定委員会」という。）は、国崎クリーンセンター第3期焼却施設等管理運営業務（以下「本業務」という。）に関して、落札者決定基準に基づき、提案内容等の審査を行いましたので、審査結果及び審査講評を次のとおり報告します。

令和3年11月12日

国崎クリーンセンター第3期焼却施設等管理運営業務
事業者選定委員会
委員長 吉田 篤正

目 次

| | |
|--------------------------------------|----------|
| 1. 民間事業者の募集と選定委員会の経緯 | 1 |
| (1) 事業概要（目的・方式等） | 1 |
| (2) 募集のスケジュール..... | 1 |
| (3) 選定委員会の構成..... | 2 |
| (4) 選定委員会の開催と経緯..... | 2 |
| 2. 参加資格審査 | 2 |
| 3. 提案内容に関する審査 | 3 |
| (1) 入札価格の確認..... | 3 |
| (2) 提案内容の基礎審査..... | 3 |
| (3) 提案内容の加点審査（入札価格に関する事項以外の審査） | 3 |
| (4) 入札価格及び入札価格の得点..... | 8 |
| (5) 総合評価の算定による最優秀提案の選定..... | 8 |
| 4. 組合への答申 | 8 |
| 5. 提案書の審査結果の概要（講評） | 9 |
| (1) 総評..... | 9 |
| (2) 選評..... | 9 |
| (3) 今後の事業実施に当たって（要望等） | 10 |

1. 民間事業者の募集と選定委員会の経緯

(1) 事業概要（目的・方式等）

① 事業の目的

猪名川上流広域ごみ処理施設組合（以下「組合」という。）は、国崎クリーンセンター（以下「本施設」という。）の管理運営について、将来にわたって、より安全で安定的かつ効率的な管理運営を行うために、包括的に委託する本業務を実施する民間事業者（以下「事業者」という。）を募集により選定することとした。

② 事業方式

本業務は、組合が契約する事業者が、組合が所有する本施設の受付管理業務、運転管理業務、維持管理業務、環境管理業務、有効利用業務、情報管理業務及び関連業務を行う包括委託によるものとする。

③ 期間

事業契約締結日 から 令和8年3月31日 まで

(2) 募集のスケジュール

事業者の募集及び選定にあたってのスケジュールは、下表のとおりである。

| 日 程 | 内 容 |
|---------------------|--------------------|
| 令和3年4月12日（月） | 入札公告（入札説明書等の公表） |
| 令和3年4月22日（木） | 質問の受付（第1回） |
| 令和3年5月20日（木） | 質問回答の公表（第1回） |
| 令和3年6月3日（木） | 参加表明書、参加資格審査申請書類受付 |
| 令和3年6月17日（木） | 参加資格審査結果の通知 |
| 令和3年7月1日（木） | 質問の受付（第2回） |
| 令和3年7月21日（水） | 質問回答の公表（第2回） |
| 令和3年8月19日（木） | 提案書の受付（入札）及び開札 |
| 令和3年10月下旬～ 11月上旬 | 落札者の決定及び公表 |
| 令和3年11月 | 基本協定締結 |
| 令和3年12月 | 管理運営業務委託契約締結 |

(3) 選定委員会の構成

事業者の選定にあたり審査の公平性及び透明性を確保し客観的な評価等を行うため、学識経験者等から構成する選定委員会が設置された。

選定委員会の構成は、次のとおりである。

| 役職 | 氏名 | 所属等 |
|------|-------|---------------------------|
| 委員長 | 吉田 篤正 | 大阪府立大学大学院工学研究科 名誉教授 |
| 副委員長 | 西村 伸也 | 大阪市立大学大学院工学研究科 教授 |
| 委員 | 竹田 享司 | 一般財団法人 環境事業協会技術部 技術協力担当課長 |

(4) 選定委員会の開催と経緯

本事業の最優秀提案者を選定するために、選定委員会を4回開催した。選定委員会の審議・審査等の経過については次表のとおりである。

| 選定委員会 | 開催日 | 審議・審査等の事項 |
|-------|------------|---|
| 第1回 | 令和3年3月10日 | <ul style="list-style-type: none">・委員会及び委員会議事録の公開について・委員会の進め方について・業務概要（案）について・要求水準書（案）について・入札説明書（案）について・落札者決定基準（案）について |
| 第2回 | 令和3年8月21日 | <ul style="list-style-type: none">・入札公告以降の経過報告について・審査の進め方について |
| 第3回 | 令和3年9月21日 | <ul style="list-style-type: none">・基礎審査質問回答書について・提案書に関する意見交換について |
| 第4回 | 令和3年10月26日 | <ul style="list-style-type: none">・プレゼンテーション及びヒアリング・最優秀提案の選定 |

2. 参加資格審査

令和3年4月12日に入札公告を行い、令和3年6月3日に参加表明書及び参加資格審査申請書類を受け付けたところ、次に示す1グループから入札参加の申請があった。参加資格審査にて入札参加資格を有することを確認したため、令和3年6月17日に入札参加資格審査結果を書面にて通知した。

なお、当該入札参加者には、提案書作成にあたって、次に示すグループ名を用いるよう通知した。

| グループ名 | 企業名 | 役割 |
|--------|----------------------------|------------------------|
| すぎグループ | J F E エンジニアリング株式会社 大阪支店 | 代表企業、運転管理企業、 維持管理企業 |

3. 提案内容に関する審査

(1) 入札価格の確認

令和3年8月19日、組合に1グループから提案書の提出があった。

同日の組合による開札・確認において、入札参加者の入札価格が、予定価格以下であることが確認され、応募条件を満たしていることが報告された。

なお、応募条件充足の確認後、選定委員会による入札価格による価格点の算出までの間、入札価格は組合において厳封・保管された。

(2) 提案内容の基礎審査

事業提案書の各様式に記載された基本的事項の確認において、1グループの入札参加者について、要求水準書に示す必要要件を満たしていることを組合が確認した。

(3) 提案内容の加点審査（入札価格に関する事項以外の審査・得点化）

選定委員会では、入札参加者1グループからの提案書について、予め公表された落札者決定基準により、1グループの提案内容について、各委員による審査項目ごとの審査・評価が行われた。

その結果、各委員による評価結果の平均値を算出し、入札価格に関する事項以外の得点とした。

なお、落札者決定基準では、入札価格に関する事項以外の得点が17.5点を下回る場合は失格とすることを規定していたが、入札価格に関する事項以外の得点が、17.5点を上回ることを確認した。

■採点の基準

| 評価ランク | 評価内容 | 得点 |
|-------|---------------------------------------|---------|
| A | 当該評価項目において、特に優れている | 配点×1.00 |
| B | AとCの中間程度 | 配点×0.75 |
| C | 当該評価項目において、優れている | 配点×0.50 |
| D | CとEの中間程度 | 配点×0.25 |
| E | 当該評価項目において、要求水準を満たしているものの、優れているとは言い難い | 配点×0.00 |

■ 審査結果一覧表

| 審査項目 | 配点 | すぎ グループ |
|---|------|------------|
| 1. 運営・維持管理業務に関する事項 | 56 点 | 41.02 点 |
| (1) 受付管理業務 | 4 点 | 2.50 点 |
| ア 本施設の安定的な運転のため、受付時における搬入禁止物の発見等に関して優れた提案がなされているか。 | 2 点 | 1.25 点 |
| イ その他、受付管理における優れた提案がなされているか。 | 2 点 | 1.25 点 |
| (2) 運転管理業務 | 22 点 | 17.13 点 |
| ア 搬入ごみ量・ごみ質の変動に対する対応について優れた提案がなされているか。 | 4 点 | 2.50 点 |
| イ 安定した廃棄物処理を前提とした上での売電量の極大化について優れた提案がなされているか。 | 5 点 | 4.38 点 |
| ウ 本施設の安定的な運転のため、プラットフォーム等における搬入禁止物の発見等に関して優れた提案がなされているか。 | 3 点 | 2.25 点 |
| エ 災害・事故発生時、突発故障時等においても、安定的な処理の継続に支障をきたさない運転管理方法・体制について優れた提案がなされているか。 | 4 点 | 3.00 点 |
| オ 灰溶融炉の運転管理に関して、豊富な実績を有しているか。 | 2 点 | 2.00 点 |
| カ リサイクルプラザの運転管理に関して、優れた提案がなされているか。 | 2 点 | 1.50 点 |
| キ その他、運転管理における優れた提案がなされているか。 | 2 点 | 1.50 点 |
| (3) 維持管理業務 | 12 点 | 8.13 点 |
| ア 要求水準書に示す基本条件を確実に遵守するための調達、点検・検査、補修・更新、機器更新等の方法に関して優れた提案がなされているか。 | 3 点 | 2.25 点 |
| イ 災害・事故発生時、突発故障時等においても、安定的な処理の継続に支障をきたさない調達、点検・検査、補修・更新、機器更新等の方法・体制について優れた提案がなされているか。 | 5 点 | 3.13 点 |
| ウ 業務期間終了時の引渡条件を確実に遵守する方法について優れた提案がなされているか。 | 2 点 | 1.50 点 |
| エ その他、維持管理における優れた提案がなされているか。 | 2 点 | 1.25 点 |
| (4) 環境管理業務 | 8 点 | 6.25 点 |
| ア 本施設の環境保全基準を確実に遵守するための運転管理値等の設定等に関する優れた提案がなされているか。 | 4 点 | 3.50 点 |

| 審査項目 | | 配点 | すぎ グループ |
|----------------------|--|------------|---------------|
| イ | 作業環境保全計画に関する優れた提案がなされているか。 | 2点 | 1.50点 |
| ウ | その他、環境管理における優れた提案がなされているか。 | 2点 | 1.25点 |
| (5) 有効利用業務 | | 3点 | 2.63点 |
| ア | 本施設より発生するスラグの有効利用に関して優れた提案がなされているか。 | 3点 | 2.63点 |
| (6) 関連業務 | | 7点 | 4.38点 |
| ア | 本施設の清掃等に関して優れた提案がなされているか。 | 2点 | 1.25点 |
| イ | 本施設の防火管理・火災時対応について、優れた提案がなされているか。 | 3点 | 1.88点 |
| ウ | その他、関連業務における優れた提案がなされているか。 | 2点 | 1.25点 |
| 2. 事業計画に関する事項 | | 14点 | 10.89点 |
| (1) リスク管理 | | 6点 | 4.13点 |
| ア | リスク管理の基本的な考え方（管理方針及び体制）について、優れた提案がなされているか。 | 3点 | 2.25点 |
| イ | 本業務に伴うリスクの認識と対応策（リスクの内容、負担者、保険活用等）について、優れた提案がなされているか。 | 3点 | 1.88点 |
| (2) 地域への貢献 | | 8点 | 6.76点 |
| ア | 本業務における地元企業（組合の構成市町に営業所等を置く企業）の活用方針について、優れた提案がなされているか。 | 3点 | 2.63点 |
| イ | 本業務における地元人材（組合の構成市町の在住者）の活用方針について、優れた提案がなされているか。 | 3点 | 2.63点 |
| ウ | その他、地域への貢献における優れた提案がなされているか。 | 2点 | 1.50点 |
| 合計 | | 70点 | 51.91点 |

■ 審査結果の詳細

| 審査項目 | | 評価の内訳 (人) | | | | |
|--------------------|---|-----------|---|---|---|---|
| | | A | B | C | D | E |
| 1. 運営・維持管理業務に関する事項 | | | | | | |
| (1) 受付管理業務 | | | | | | |
| ア | 本施設の安定的な運転のため、受付時における搬入禁止物の発見等に関して優れた提案がなされているか。 | | 1 | 1 | | |
| イ | その他、受付管理における優れた提案がなされているか。 | | 1 | 1 | | |
| (2) 運転管理業務 | | | | | | |
| ア | 搬入ごみ量・ごみ質の変動に対する対応について優れた提案がなされているか。 | | 1 | 1 | | |
| イ | 安定した廃棄物処理を前提とした上での売電量の極大化について優れた提案がなされているか。 | 1 | 1 | | | |
| ウ | 本施設の安定的な運転のため、プラットフォーム等における搬入禁止物の発見等に関して優れた提案がなされているか。 | | 2 | | | |
| エ | 災害・事故発生時、突発故障時等においても、安定的な処理の継続に支障をきたさない運転管理方法・体制について優れた提案がなされているか。 | | 2 | | | |
| オ | 灰溶融炉の運転管理に関して、豊富な実績を有しているか。 | 2 | | | | |
| カ | リサイクルプラザの運転管理に関して、優れた提案がなされているか。 | | 2 | | | |
| キ | その他、運転管理における優れた提案がなされているか。 | | 2 | | | |
| (3) 維持管理業務 | | | | | | |
| ア | 要求水準書に示す基本条件を確実に遵守するための調達、点検・検査、補修・更新、機器更新等の方法に関して優れた提案がなされているか。 | | 2 | | | |
| イ | 災害・事故発生時、突発故障時等においても、安定的な処理の継続に支障をきたさない調達、点検・検査、補修・更新、機器更新等の方法・体制について優れた提案がなされているか。 | | 1 | 1 | | |
| ウ | 業務期間終了時の引渡条件を確実に遵守する方法について優れた提案がなされているか。 | | 2 | | | |
| エ | その他、維持管理における優れた提案がなされているか。 | | 1 | 1 | | |
| (4) 環境管理業務 | | | | | | |
| ア | 本施設の環境保全基準を確実に遵守するための運転管理値等の設定等に関する優れた提案がなされているか。 | 1 | 1 | | | |

| 審査項目 | | 評価の内訳 (人) | | | | |
|---------------|--|-----------|----|----|---|---|
| | | A | B | C | D | E |
| イ | 作業環境保全計画に関する優れた提案がなされているか。 | | 2 | | | |
| ウ | その他、環境管理における優れた提案がなされているか。 | | 1 | 1 | | |
| (5) 有効利用業務 | | | | | | |
| ア | 本施設より発生するスラグの有効利用に関して優れた提案がなされているか。 | 1 | 1 | | | |
| (6) 関連業務 | | | | | | |
| ア | 本施設の清掃等に関して優れた提案がなされているか。 | | 1 | 1 | | |
| イ | 本施設の防火管理・火災時対応について、優れた提案がなされているか。 | | 1 | 1 | | |
| ウ | その他、関連業務における優れた提案がなされているか。 | | 1 | 1 | | |
| 2. 事業計画に関する事項 | | | | | | |
| (1) リスク管理 | | | | | | |
| ア | リスク管理の基本的な考え方（管理方針及び体制）について、優れた提案がなされているか。 | | 2 | | | |
| イ | 本業務に伴うリスクの認識と対応策（リスクの内容、負担者、保険活用等）について、優れた提案がなされているか。 | | 1 | 1 | | |
| (2) 地域への貢献 | | | | | | |
| ア | 本業務における地元企業（組合の構成市町に営業所等を置く企業）の活用方針について、優れた提案がなされているか。 | 1 | 1 | | | |
| イ | 本業務における地元人材（組合の構成市町の在住者）の活用方針について、優れた提案がなされているか。 | 1 | 1 | | | |
| ウ | その他、地域への貢献における優れた提案がなされているか。 | | 2 | | | |
| 合計 | | 7 | 33 | 10 | 0 | 0 |

※第4回事業者選定委員会において、委員1名が欠席となったため、委員2名で評価を実施

(4) 入札価格及び入札価格の得点

選定委員会において、予め公表された落札者決定基準に基づいて入札価格の得点が算出された。入札価格（消費税及び地方消費税は含まない）及び入札価格の得点は、次に示すとおりである。

■入札価格の得点

| グループ名 | 入札価格 | 入札価格の得点 |
|--------|-----------------|---------|
| すぎグループ | 6,690,000,000 円 | 30.00 点 |

予定価格 : 6,694,332,806 円（消費税及び地方消費税を除く）

(5) 総合評価の算定による最優秀提案の選定

選定委員会は、入札価格に関する事項以外の得点と入札価格の得点を合算した総合評価点を算出し、審議の結果、「すぎグループ」を最優秀提案者として選定した。

なお、選定委員会において最優秀提案の選定が終了するまでの間は、入札参加者の構成企業の実名と入札価格の開示はされず、グループ名によって審査を実施した。

■総合評価一覧表

| グループ名 | ア) 入札価格に関する事項以外の得点 | イ) 入札価格の得点 | ウ) 総合評価点 |
|--------|--------------------|------------|----------|
| すぎグループ | 51.91 点 | 30.00 点 | 81.91 点 |

ア) 入札価格に関する事項以外の得点＝選定委員会による評価

イ) 価格点＝ $30 \times (\text{最低入札価格} / \text{入札価格})$

ウ) 総合評価点＝ア) 及びイ) の合計

4. 組合への答申

選定委員会は、前述により選定した「すぎグループ」が本事業の最優秀提案者として最も適当と認め、組合に答申した。

| グループ名 | 企業名 | 役割 |
|--------|----------------------------|------------------------|
| すぎグループ | J F E エンジニアリング株式会社 大阪支店 | 代表企業、運転管理企業、 維持管理企業 |

5. 提案書の審査結果の概要（講評）

（1）総評

本業務は、本施設について、将来にわたって、その基本性能を発揮させ、より安全で安定的かつ効率的な管理運営を実施することを目的とし、本施設の管理運営を包括的に事業者へ委託するものである。

令和3年4月12日に入札公告したところ、最終的に1グループから応募があった。当該グループの提案には、独自の技術やノウハウが随所に組み込まれており、組合の期待に応えるものであった。このような優れた提案をいただいた当該グループに対して敬意を表するとともに、深く感謝を申し上げたい。

（2）選評

提案書の内容については、以下の「運営・維持管理業務に関する事項」、「事業計画に関する事項」の審査項目ごとに各委員が審査・評価を行った。

（受付管理業務）

- ・利用者とのトラブルを未然に防ぐ予防策と、トラブル発生時の対応策について評価した。また、年末対応として具体的な対応方法を評価した。

（運転管理業務）

- ・搬入ごみ量・ごみ質の変動対策について評価した。また、熟練技術と最新技術の双方によるごみ質変動対策について評価した。
- ・運転実績に基づく操炉計画による売電量の極大化対策と現場レベルでの場内消費電力量の提案について評価した。
- ・災害・事故発生時、突発故障時等の事態を想定した代表企業のバックアップ体制など、各種の安定処理に資する対策を評価した。
- ・灰溶融炉の運転管理に関して、代表企業及び運転会社の豊富な実績を評価した。

（維持管理業務）

- ・災害・事故発生時等、不測の事態を想定した代表企業の各専門部門の協力と全国ネットワークを活かしたバックアップ体制を評価した。
- ・代表企業の最新技術を活用した各種情報の一元管理による効率的な維持管理方法を評価した。また、設備診断を基にした基幹改良工事の提案を評価した。

（環境管理業務）

- ・運転管理値等の設定等に関して、代表企業の経験豊富なノウハウが提案されている点を評価した。

（有効利用業務）

- ・第2期業務で実績を有するスラグの有効利用について評価した。

(関連業務)

- ・最新システムを用いた安全教育について評価した。

(リスク管理)

- ・リモートセンターからの遠隔監視、本社及び支店からのモニタリングにより、多層的且つ高頻度で情報共有を行うモニタリング体制を評価した。

(地域への貢献)

- ・地元企業への継続発注及び、リサイクルプラザの運転管理や受付管理等の業務における地元企業の活用を評価した。また、人材についても業務における地元人材の活用を評価した。

(3) 今後の事業実施に当たって (要望等)

選定委員会において、あらかじめ公表した落札者決定基準に則り、厳正かつ公正に審査を行った結果、J F Eエンジニアリング株式会社大阪支店を最優秀提案として選定した。

今後、組合と管理運営業務委託契約を締結し、事業を実施していく際には、公共サービスの更なる向上のため、以下の事項に留意して事業を実施頂きたい。

- ・ 組合と緊密な連携を図り、施設運営に関する情報共有を十分に行うことで、住民から安心して頂ける施設運営を行うこと。
- ・ 計量業務など第2期業務から業務範囲が拡大したことに伴い、来場者との接触機会が増えることも十分に認識し、来場者が気持ちよく使って頂けるよう日頃から留意するとともに、トラブル等が生じないようマナー講習などの対策にも努めること。
- ・ 管理運営期間中の売電電力の極大化に努めることで、気候変動対策として、組合の二酸化炭素排出量の削減を図ること。
- ・ 感染症や熱中症への罹患リスクにある労務環境であることに鑑み、作業員の労働環境の改善に継続的に取り組むとともに、作業員の自己管理だけでなく、組織として積極的な健康管理にも取り組むこと。
- ・ 防火管理・火災対応や災害時対応について、発生時に適切な対応が可能となるように、様々な事態を想定したマニュアルの整備や日頃からの訓練等に取り組むこと。

最後に、本業務が事業者の有する経験と創意工夫が十分に活かされ、将来にわたって、より安全で安定的かつ効率的な管理運営が実現されることに期待するとともに、入札参加者の熱意と努力、さらに事務局とその関係者による適切な審査運営への尽力に対しても、選定委員会としてあらためて敬意と謝意を表したい。

令和3年11月12日

国崎クリーンセンター焼却施設等管理運営業務事業者選定委員会
委員長 吉田 篤正